

ちいきのわだい

1月26日・30日・2月1日
仙北市

白寿のお祝い おめでとうございます

このたび白寿を迎えられた方々に、仙北市からお祝いと花束がそれぞれ贈呈されました。



1月26日、千葉カツさんが白寿を迎えました。



1月30日、高橋トキエさんが白寿を迎えました。



2月1日、原充さんが白寿を迎えました。

1月22日
角館・田沢湖地区

仙北市障害者総合支援協議会 暮らし・相談部会 市民バリアフリー啓発活動を展開

1月22日、仙北市障害者総合支援協議会暮らし・相談部会（伊藤弘昭部会長）が、冬期間における仙北市内のバリアフリー状況について、実際に市街地などを歩きながら確認を行いました。

当日は、視覚障がい者の方の同行を得て、角館駅と田沢湖駅と二班に分かれ、駅周辺から見回りを開始しました。

視覚障がい者の方が雪道を歩行する際に注意している事柄を聞き取りながら、道路や施設の周囲を改めて見直すと、積雪でできた小さな段差など、気になる点がいくつか見つかりました。



協議会では今回の提言をまとめ、今後のバリアフリー啓発活動に役立てていく予定です。

交差点などを注意深く観察する参加者。冬期間は雪などの障害物も多くみられました。

12月17日
角館地区

角館公民館だより「きずな」 全国公民館報コンクールで特別賞

この度、角館公民館だより「きずな」が、全国公民館連合が主催する第5回全国公民館報コンクールで特別賞を受賞しました。題字、似顔絵、漫画などが優れていることに加え、手書きの温かさにあふれていると評価を受けました。「きずな」は編集委員（草薨稔代表）

の6人が取材し、A3版二つ折りで、5500部を地域に届けています。全国から集まった195点の応募作品から入賞したことに對し、草薨稔代表は「入賞は皆さんのご支援、ご協力のおかげ。感謝しています」と感謝の言葉を話しました。



読んで得る記事の掲載をモットーに刊行され、現在23号が発刊されています。

1月22日
神代就業改善センター

雪下ろし技能講習会 安全な雪下ろしのための知識を学ぶ



上：はしご設置の注意点を実演。左：消防士の説明を受けながらロープの結び方を習得しました。



1月22日、神代就業改善センターと神代出張所で雪下ろし技能講習会が開催されました。この講習会は近年、雪下ろし中の事故が多発していることから、安全な作業方法を身につけてもらおうと、仙北市と秋田県が昨年度から開催しています。今年度は26人が参加して、複数で作業する、ヘルメット・命綱を着用するなど、雪下ろし時に気を付けるポイントを学びました。

また、実技講習では角館消防署・田沢湖分署・西木分署の消防士によるロープの結び方と安全な雪下ろしの実演指導が行われ、参加者は真剣な表情で説明に聞き入っていました。

白岩城址燈火祭

数百のかがり火が歴史を照らす

仙北市の冬まつり



かがり火の明かりが祭りを盛り上げ、多彩な催しで賑わう。2月7日、「第14回白岩城址燈火祭」が白岩平城を主会場に行われました。中世、近世の白岩の繁栄を、本町通りや白岩家城址館山参道のかがり火で再現するこの祭り。午後6時、雲巖寺の鐘の音と共に館山参道にかがり火が灯されると辺りは幻想的な雰囲気になります。打ち上げ花火や火振りかまくら、綱引き大会など多彩な催しに、会場を訪れた皆さんが祭りを大いに楽しみました。



会場で踊りの輪が広がった元氣白岩ひでこ節踊り。



火振りかまくらの体験では、勢いを増す炎に歓声が沸きました。



今年も地域と交流のある国際教養大学の皆さんが祭りに参加しました。今回はオーストラリア国立大学の学生も訪れ、祭りの準備も手伝い、交流を深めました。